

右四時間

○口頭試驗問題

第一日 (六月廿日)

一、支那地圖を示し、黄河につきて、中等學校における授業の方法を實演せしむ。

二、二十萬分一帝國圖の松江、杵築兩圖幅を示し、杵築平野の成因並びに聚落につきて説明せしむ。

三、地質詳圖の一戸圖幅を示し、地質と地形との關係につき説明せしむ。

四、a 三稜石を示し、其の成因を説明せしむ。
b、コトヒーの實の附きたる枝を示して之を鑑識せしめ、更にコトヒーの産地につきて述べしむ。

五、方位の測定法につきて述べしむ。

第二日 (七月一日)

一、中央ヨーロッパの地圖を示し、エルベ川流域につきて、中等學校に於ける授業の方法を實演せしむ。

二、五萬分一地形圖の舉母圖幅を示し、聚落の分布及び發達の理由につきて説明せしむ。

三、地質詳圖の本智圖幅を示し、地質と地形との關係につき説明せしむ。

四、a 珊瑚礁岩を示し、其の成因を説明せしむ。
b はゼの實を示して之を鑑識せしめ、更に其の用途及び産地の分布につきて述べしむ。

第二卷

第二號

三〇

八四

五、傾斜儀を用ひて層位を測定せしむ、併せて方位につきて述べしむ。

新刊紹介

◎政治地理雜誌の新刊

世界戦争後の地理學研究の方面が斯學の本場を以て自負する獨逸地理學者間に著しい變化を生じ、特に人文方面に於て從來缺陷があつたことが認められて來たのが目に著いた。此の方面に對して新たに現はれたのが政治地理學の専門雜誌「*Zeitschrift für Geopolitik*」で本年一月恰も本誌の生れたと同時に柏林で呱呱の聲をあげた。注文中で未だ現物は見ぬが一月號には生長空間の法則(ヘツセ)歐洲露國の地政策導線(オプスト)季節風地方のユニテイー(ハウスホーフエル)アメリカの國家的發展の自然的基礎(テルメル)地政策上の力野としての地中海(ラウテンザツハ)等の論文が載せられ、二月號には問題歐洲 オプスト 國家構作者としてのラインシダグニユーブ(フキョーゲル)芬蘭國の自然的及び經濟的基礎(ブラウッ)日本の地震と其の政治的效果(ハウスホーフエル)ブラッルの地政策的構造(マッル)國家の生長と國民とに於ける差異(ツィーゲル)等で、頗る人目を惹くものがある。近日到着後に内容の面白いものを紹介する積である。(月刊毎號四八頁一年定價二四金貨マルク)(小川)

○Countries of the World.

はイギリスのハムマー
トンの編輯にかゝる隔週刊物で、去る二月十二日火曜日、其の
第一巻を出し、隔週火曜日に第二巻以下を續刊し、約四十冊で完
結するもので、目下（五月下旬）最初の二巻が丸善から賣出され
た。本書の出版は一般讀者及び地理教育者を目的とするもので
各冊約百頁の假綴、世界の各地方を地理的單元（Geographical
Unit）に従つて適宜分合して大小の題目を定め、之をアルファベ
ット順に記述するのである。例へば第一巻には「アビシニヤ」
「エリトリア」「アフガニスタン」「アフリカ」「アラスカ」
「アルバニア」
「アルサス・ローレン」
「北アメリカ」、第二巻には「アムステ
ルダム」
「アナトリア」
「アンダルシア」
「アンゴラ」
「アンタクト
カ」を収めて居る。第一巻の索引地圖による、日本の部では
「日本」
「東京」
「朝鮮」
「臺灣」の四項に分ける計畫である。各題目
の筆者は多くは其の地方への旅行者か研究者である。記述は割
合簡單で、且通俗的・趣味的であるが、しかし正確なものを見る
ことが出来よう。殊に本書の特色とすべきは寫眞版の豊富なこ
とで、各巻何れも大小百枚以上を挿み、内、十數枚は全頁の色
刷のものでさる。しかし是等の寫眞版の多くは筆者の自ら寫し
たもので初めて公表されるものださうである。とにかく外國地
理教授者にとつて此の寫眞版だけでも教授上の參考又は利用と
なると思ふ。（丸善賣價一冊七十五錢）（西田）

○第一回中國年鑑
民國十三年版
阮湘外數氏共編
上海商務印書館發行
定價大洋四元

新刊紹介

從來支那に關する統計年鑑としては北京天津タイムズ社發行
の英文 China Year book と上海東亞同文會發行の支那年鑑と
があるが何れも其の主なる原據は中華民國中央政府各部の年報
各海關年報等であり、其の他は各専門家の推定を基として作つた數で
ある。此二者は各特色があつて其の優劣を論ずることは出来な
いが何れも Up-to-date の材料に乏しく且つ毎年確定約に出版
せらるゝとも限らず、此の種の資料要求者に取つて不便が尠く
なかつたが今回中國文の年鑑が中國人自身によつて編纂せられ
其の資料も大部分政府筋其他公共團體の調査等比較的確實なも
のから選定し成るべく最新の數を取つてあるのは多きとすべきで
ある、勿論支那のことであるから其の根本となる統計其物が不
備であつて精細な點に至つては保證の限りではないが兎の角す
べての項目に亘つて網羅してゐる、其の内容は土地及人口、政
治軍事、財政金融、交通水利、農工商業、教育宗教、の各項で
末尾に中國大事記と題し光緒二十九年より最近まで二十年間の
年表を掲げ尙、世界の部を設け中國より見たる世界統計年鑑大
要を添へてゐる、第一回のことであるから年鑑としての體裁を
なしてゐない所もあるが圓を逐うて改良して行つたら見るべき
ものとなるであらうし延いては支那の統計の根本を改善するこ
とを促進する助ともなると思ふ。（田中）

○中華全國風俗志
民國十二年版
胡樸安編
上海廣益書局發行
四冊定價大洋四元
支那各地の風俗を詳細に述べたもので内容は各省の各縣別と
し尙十八省以外は新疆、熱河、綏遠、蒙古、青海、西藏、及苗

族の各章とし、各地の氣候、風土、産物、年中行事等より衣食住其他の風俗習慣の細節に及んでゐる其の資料は各正史の地理志、風俗志、歴代の文學、各府志、縣志、等の文獻から取り相當に根據のあるもの、みて編者の獨斷を交てゐない從來支那の風俗習慣を取扱つたものは外國人側には相當出てゐるが中國人自身の見たものは餘り多くない本書は支那の風俗を詳細に知るに適當するのみならず、又此の國の地方誌研究の資としても推奨するに足る。(田中)

○地理教材研究第四輯

(大正十三年四月五日發行東京京橋區南傳馬町二、目黒書店)

(定價一圓二十錢)

地理教科研究第一輯の世に出たのは大正十一年の四月であつたが、主幹西田典四郎君の努力によつて立派に成人した、今度の輯には大津市と膳所町、秩父地方の地形、愛知縣の耕土工業北海道の農業、漆器の研究、紀伊半島の東岸及南岸、名古屋といつた風の地方の地理的考案が二十七項目に互つて詳細に論じられてゐる、が中には名所案内的の記事例へば、淡路島、伊豆半島の温泉といつた風の單に報告にすぎないものもあるが、多くは眞摯なる研究努力の跡の見えるのは頼母しい、發起人として名を列してゐる我地理學の大家の技書の少いことを遺憾に思ふは是我輩一人のみならんやである。(藤田)

新著題目 (1)

支那

陝西の黄土と岩窟住居 (M. L. Fuller and F. G. Clapp; Loess and rock dwellings of Shensi, China.) *Geogr. Rev.* Apr. 1924, 715-216.

蒙古に於ける第三回亞細亞探檢の測圖 (F. K. Morris; Notes on the mapping program of the third Asiatic Expedition in Mongolia.) *ibid.* 257-292.

1921年 (Ch. Bell; A year in Lhasa.) *Geogr. Journ.* LXIII, 1924, 87-105.

西部雲南峰崖の衝上 (R. W. Gannett; Overthrusts of the Honey Cliffs in Western Yunnan, China.) *Pan-American Geologist*, XII, 1924, 99-100.

北支那の白堊紀層 (G. B. Parbour; Cretaceous Beds in North China) *nature*, CXXI, 1, 1924, 194-195.

質疑應答

文檢地理科試験問題解説、紙數の都合により後半は次號に掲載す。

問 琉球列島の自然地理

答 地理學上では薩南及琉球の諸島を一括して琉球列島と呼ぶ地體構造上からは琉球海又は琉球弧島と名づける。之を大別すると薩南諸島、川邊七島、大鷲諸島、沖繩諸島、及び先島諸島の五部に分れる。この列島は東海東縁を成すが海